

## 【ジングルコーナー原稿102】

『言霊綴りの縛り刻（とき）』

作：サイトウヤスナリ

### ○登場人物

綴り（つづり） 女性。言葉に力を宿す霊能力者。

理屈っぽく、どこか飘々としている。

縛（しばり） 女性。過去の因縁に囚われた地縛霊。

皮肉を皮肉で返すタイプ。余裕たっぷりのお姉さん口調。

### ○タイトルコール

綴り ここからジングルコーナーの時間だな。

縛 タイトルは「言霊綴りの縛り刻」ですわ。

### ○本編

綴り ふーむ、今日のお相手は、一筋縄ではいかない、か。

縛 縄だなんて、わたくし、縛られてしますの？ 綴りさん。

綴り おや、私のことを知っているのか。それは光榮だ。

縛 お噂はかねがね。

綴り それなら私が縛るではなく、綴る者であることも知っているだろ？

縛 噂というのは、存外當てにならないものです。

先ほどまでの質問攻めは、まるで縛りプレイのようでしたわ。

綴り 私としたことが、いやはや失礼した。

縛 感心した次第で「」ぞこます。

それにしても、随分と手慣れたものですね。

もはや芸の域に達して居るのでは?

綴り どんなものでも、突き詰めれば芸術。それが私の持論でね。

縛り それでしたら、この場に留まるわたくしも、

芸術ではありませんこと? 地縛霊は執着の極みですから。

綴り はは、上手こじとを言うじゃないか。

しぶといとは、君のような存在のことを言うのだろうな。

縛り ご存知ですか? しぶといの語源は、“縛る”と“共に”で縛共(しばと)い。

わたくしはこの地に縛られたまま、あなたと共に言葉を交わす。

あら、これはもう運命ではなくつて?

綴り 私は捻くれ者でね。運命を信じない質なのだよ。

それに、しぶといの語源は、“死に、太い”で、しぶとい、

という一説が有力だったはずだが?

縛り ふふ、流石です。ああ、わたくし、とつても楽しいですわ。

このまま、とこしえに語り合いませんこと?

綴り 素敵なお誘いだが、生憎と私は綴る者。

物語を紡ぎ、繋ぎ、そして流れを生み出す存在なのだよ。

ですが、言葉は留まるものでもありますよ?

綴り 想いが残る限り、人は言葉を手放せない。

まるで、あの田の言葉に縛られ続ける、わたくしのよう。

綴り 留まることを望む者は、自分が縛られていることに気がつくまい。

“縛り”を“綴り”直すのも、私の役目さ。

縛り ……そう。ならば、あなたに託しても良いのかしら?

綴り うむ。しばしの語らいは心地よかつたが、

「」で句点を打たせてもらおうか。

綴り あなたに言われると、本当に一区切りな気がしますわ。

綴り 言靈とは、元来そういうものだからな。

綴り だからこそ、私は最後まで丁寧に綴るのだ。

綴り ふふ、楽しかったですわ。また、どこかで。

綴り （除霊を終え）……それは御免被るね。

### ○エンディング

綴り 竹内順子の Take a Chance 「バカ！」

綴り 韶ラジオストーリーハド好評配信中

綴り役、〇〇と、

綴り役、〇〇がお送りしました！